

2.3

心躍る大輪の花と巨大千支文字

スターフェスタ2009

心癒す可憐な灯火

光のページェントランタン祭り

第9回

第10回



花火前のモチひろいで気分はヒートアップ↑

「年男女の皆さん、僕のところにモチ投げて」

倒れているわけではなく、宝を探しています



「09いやしの灯マエサワ」と描く（中央）



夜の帳に包まれ癒しの灯りが浮かび上がる



日が沈みランタンに一齐に火を灯します



カニが当たるジャンケン大会。勝敗に一喜一憂



子どもたちの行列ができたお菓子のつかみどり



ラーメンの早食い競争。味はしょうゆ味です

2月3日、スターフェスタ2009あつま（第10回冬の花火大会・丑の千支文字焼き）が本郷こぶしの湯あつま周辺で、また、夢と希望の灯り2009光のページェント（第9回ランタン祭り）が新町厚真川河川敷で行われ、両会場に町内外から多くの方々を足を運び、本町を代表する冬のイベントを楽しんでいました。

スターフェスタは、商工会青年部（曾我清貴部長）の主催で、松明で丑を造形した縦270尺、横100尺の千支文字焼きと約2千発の花火の競演。

曾我部長は「ミレニアムから始まって今回で10回。今年は5年なのでゆつくりと催しを楽しんで」と開会にあたり来場者にあいさつをしていました。

ランタン祭りは、同実行委員会（武山喜好実行委員長）の主催で、企業、団体、学校また個人の協力で作製された約5千個のアイスキャンデルが織りなす幻想的な世界。

点火式で武山委員長が「天候が不順の中、皆さんの協力でたくさんランタンを作製してもらったことに感謝したい」とあいさつ。

今年も姉妹都市岩手県奥州市前沢区の初貝綱吉さんから、蜂の巣を原料に造られたろうそく・蜜蝋三百本が届き、祭りに花を添えていました（右上写真）。

